

タイトル 若者が多く、活気のある香川県にするために

0. はじめに

本論文は香川県の若者の定住化について大学進学についての問題を取りあげ、どのような取り組みをすれば県内大学の進学率が上がるのかを考察する。

現在の香川県では20～40歳代の人口割合が全国平均を下回り、特に20歳代の人口割合は全国平均を大きく下回っている。その原因の1つが大学進学である。香川県は大学進学者の8割以上が県外大学へ進学し、県内出身者が県内大学に進学すれば8割の若者が県内で就職している。県外大学への進学を希望する理由はなんだろうか。

県内大学や県外大学への進学それぞれの理由について知ることは若者の定住化が進むための重要な手掛かりとなるはずだ。

現在、若者が香川県に定住化するための県の取り組みとして、「魅力ある大学づくり」や「香川県大学生等奨学金制度」などが行われている。しかし、このような取り組みはまだ県内大学へ進学を希望する生徒の増加に繋がっていない。

本論文では県外、県内の大学に進学を希望するそれぞれの理由を知るためにアンケート調査を行った。どのような取り組みをすれば県内大学への進学率が上昇し、香川県の若者の定住化に繋がるのかを現役高校生の意見を元に考える。本論文では、若者を学生とする

1-1. 香川県の取り組み

実際に行われている香川県の取り組みとして高校生から大学生を対象とした2つの取り組みを挙げる。

① 魅力ある大学づくり

大学と地域の連携を深め若者から選ばれる魅力ある大学づくりを推進することにより若者の県内定着に努める取り組みのこと。

【香川県の具体的な施策】

県内大学の特長を生かした魅力づくりを県が支援するとともに、県内大学が連携して広報活動や地域連携活動を促進する。また、県内高校生の県内大学に対する認知度を向上させるため、県内大学と県内高校が連携した取り組みを進める。そして、県内大学や企業と協働し県内大学の持つ資源を有効に活用することにより地域の課題解決に役立てるとともに地域貢献により県内大学の魅力を高めるため県内大学との連携を強化する。

② 香川県大学生等奨学金

香川県では意欲や能力が高いにもかかわらず経済的な理由で大学等へ進学することが困難な人を支援するために奨学金の貸付けを行っている。

1-2. 香川県の取り組みについての考察

実際に行われている取り組みとして2つを挙げた。大学コンソーシアム香川

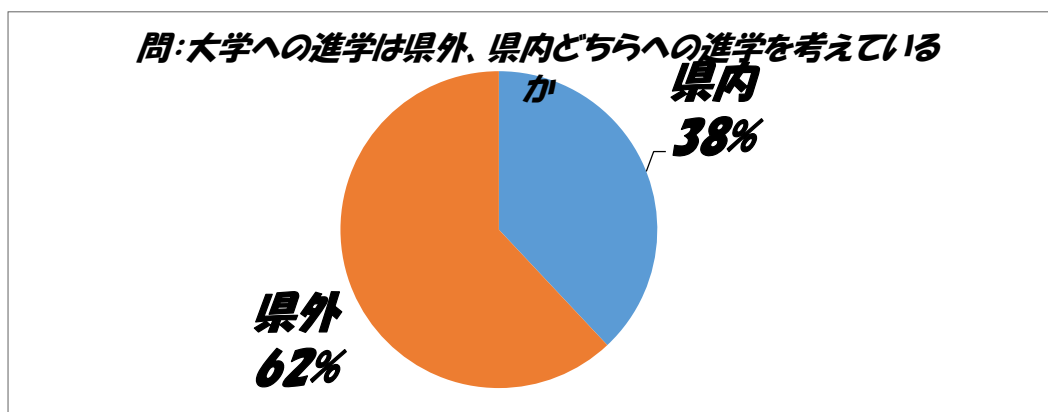
を設立し、四国新聞に魅力ある大学づくりについての県の取り組みや県内大学等の紹介を全面に掲載するという取り組みは県内大学の認知度向上に繋がったと思う。しかし、他の取り組みは県内高校との連携が不十分といえる。実際、県内大学等合同進学説明会を平成27年6月から実施しているが、今年度は香川県内の高校44校のうち5校しか実施されていない。香川県大学生等奨学金については申し込み資格が厳しく募集人数も100人程度と少数である。

2. 調査方法

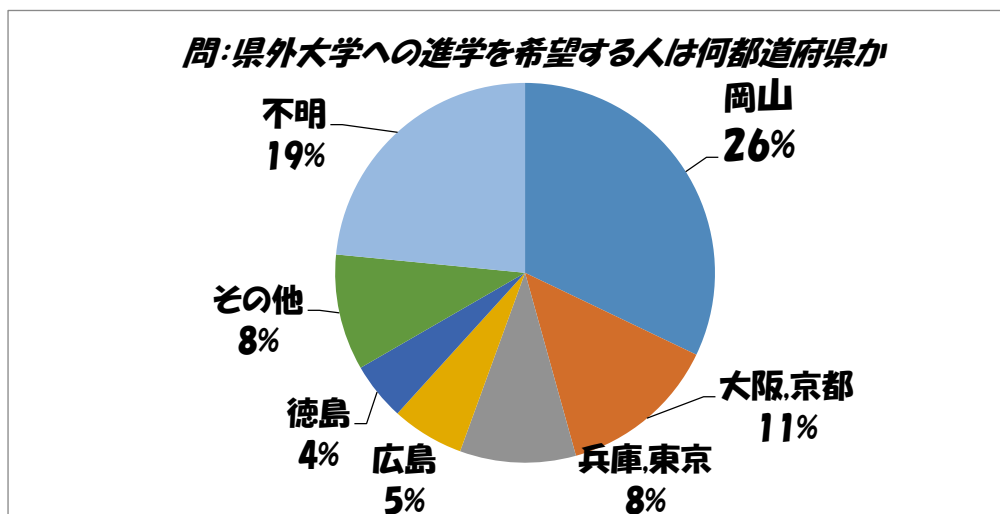
今回坂出高校の3年生2クラスと2年生4クラスの計6クラス（223人）に独自で作成したアンケート調査を行った。そして香川県庁の方や愛知県庁の方、香川大学の学生に話を伺った。

3. アンケート結果

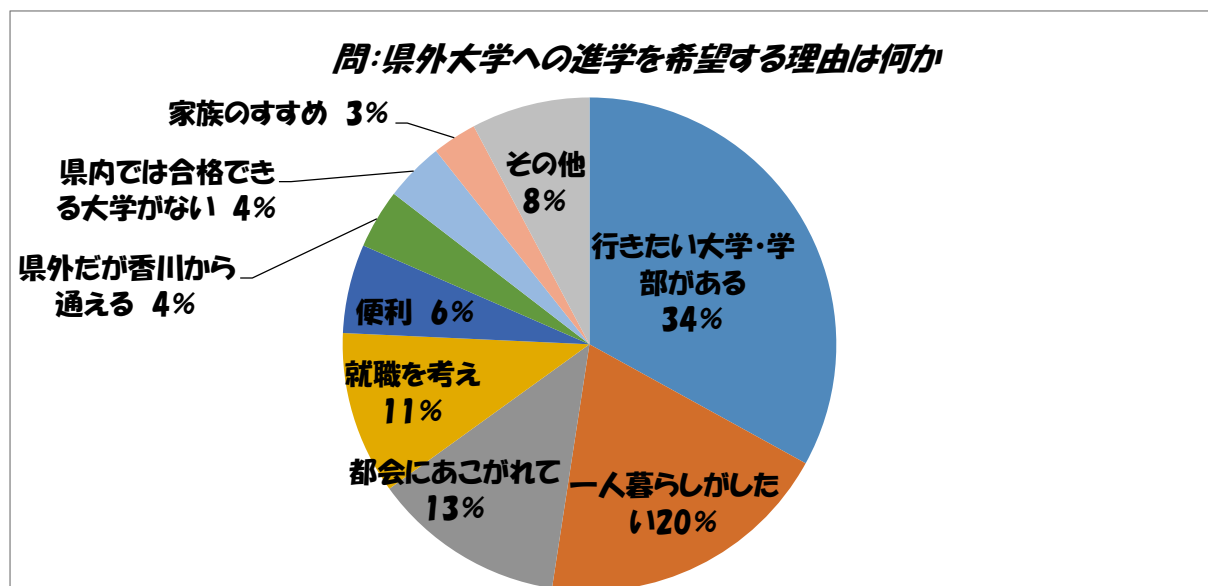
資料 1



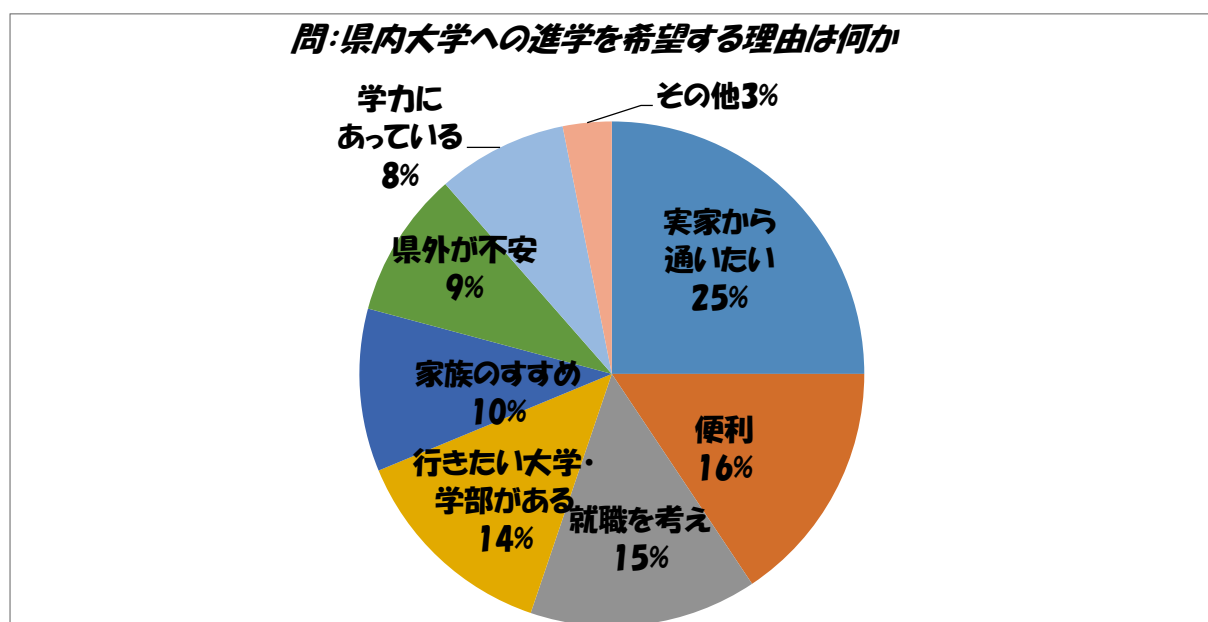
資料 2



資料 3



資料 4



資料 5

問：行きたい学部は何か

県外大学希望者

(黄色：県内大学に同じような学部・学科があるもの)

- | | | |
|---------|--------|-------------|
| • 工学 | • 経済 | • リハビリテーション |
| • スポーツ | • 経営 | • 服飾学 |
| • 保健医療 | • 教育 | • 化学 |
| • 薬学 | • 歴史 | • 栄養 |
| • 医学 | • 社会 | • 英文学 |
| • 情報工 | • 文学 | • 環境理工学 |
| • 心理 | • 法学 | • 政策 |
| • 保健福祉 | • 美術 | • 総合文化政策 |
| • 臨床検査科 | • 外国語 | • 生物地球 |
| • 看護 | • 保健看護 | |

県内大学希望者

- | | | |
|------|------|------|
| • 工学 | • 農学 | • 法学 |
| • 経営 | • 看護 | • 経済 |

4. アンケートの結果から考えること

県外大学希望者が多いことが分かる。【資料 1】坂出高校は毎年 200 名近くが大学に進学している。その中でも、県外大学に進学を希望する理由は「行きたい大学・学部がある」が最も多い。【資料 3】このことから県外大学に進学する人の多くは大学や学部が大きく関係していると考えられる。

進学先として考える都道府県は、岡山県が最も多い。【資料 2】岡山県は香川県にとって最も身近な大都市といえる。瀬戸大橋の開通により交通手段の面でも便利だということもあり、岡山への進学希望が多いと考えられる。

県内大学を希望する理由として、「実家から通いたい」が最も多かった。【資料 4】これは、実家からでも十分に通える利便性などが関係しているのではないかと考えられる。

5. アンケートから考えた香川県の県内進学率を上げるための取り組み

① 香川県内の大学、学部・学科に関して

新しく大学や学部・学科ができることにより香川県内だけでなく香川県外からも注目を浴び、香川県の大学進学率が向上する可能性があるという利点があるが、資金や土地などの大きな問題があり、時間がかかるため実現しにくいと考えられる。

実は知られていないだけで香川県内の大学にも多くの学部があるのではないかと。そこで、アンケートの県外大学の行きたい学部の中に香川県内の大学に存在する学部を調べた。【資料 6】

資料 6 県内大学の有する学部

工学部 香川大学 徳島文理大学	薬学部 徳島文理大学	医学部 香川大学	情報工学科 香川大学
臨床検査学科 県立保健医療	看護学科 香川大学 県立保健医療	経済学部 香川大学	経営学科 香川大学 高松大学
教育学部 香川大学 高松大学	歴史学 四国学院大学	社会学部 四国学院大学	文学部 四国学院大学 徳島文理大学
法学部 香川大学	スポーツ科学 四国学院大学	保健医療学部 県立保健医療	心理学 四国学院大学
保健福祉学部 徳島文理大学			

県内大学にない学部も県外にはある。例えば、環境理工学部、総合文化政策学部などのような学部は、県内にはない。【資料5】しかし、香川県内の大学にも学部は豊富にあることが分かる。【資料6】学部を増やすのではなく多くの人に県内大学の学部が豊富にあるということを知ってもらおうと県内大学への進学率が上がるのではないか。そのためには、現在行っている大学コンソーシアム香川の取り組みをもっと拡大していくとよいと考える。

② 大学生と高校生の連携プロジェクト

② -1 岡山大学では、法学について中高生が大学生と学ぶセミナーが行われている。実際に私も参加した。岡山大学法学部と岡山弁護士会が主催している。この活動では大学生の意見を詳しく聞くことができ、大学について興味を持てた。香川県内の大学もこのような取り組みをするのはどうか。

② -2 現在、香川大学経済学部が行っている直島や丸亀市の商店街などの地域活性化プロジェクトなどを県内高校生にも声をかけ高校生のボランティア活動の一貫として行うとよいと考える

大学生と一緒にすることにより高校生の香川大学への興味が湧くだけでなく、郷土愛が生まれるという利点がある。しかし、土日などは部活があり参加者が少ない可能性があるという問題点もあるが長期休業中に行うなどの解決策もある。

6. 結論

この論文では「現在、香川県では若者の人口割合が全国平均を下回っており、20歳代の人口の減少には県外大学進学者の県外での就職が大きく関係し

ている。香川県は大学進学者の8割以上が県外大学へ進学し、県内出身者が県内大学に進学すれば8割の若者が県内で就職している」という現状から、香川県の若者の定着化は、県内大学への進学率を上げるためにはどうすればよいかを考察してきた。県外大学への進学を希望している理由として県内大学に学部・学科の種類が少ないという問題があった。しかし、県内大学の認知度を上げることにより県内大学への進学率の向上に繋がると考えられる。

また、高校生と大学生との地域活性化などの交流の場を作るのも有効な対策である。地域の活性化を高校生が大学生と協力して行うことによって県内大学への興味や郷土愛を育むことができる。そして、香川県のために貢献したいという気持ちが強まると考えられる。

7. 今後の展望

県内大学への進学率を上げても県内に希望する職業がなければ、就職の際に県外へ流出してしまうのではないかという新たな問題点も出てきた。そこで、地元大学への進学率が全国1位の愛知県庁の方に「若者の定着化のために高校生、大学生を対象にした政策を行っているのか」という質問をした。しかし、そのような政策は行っていないらしい。だが、愛知県は自動車産業等の集積の高い地域であることから地元の大学の進学率や就職率が高いと考えられる。今後は、県内大学と県内企業のよりいっそうの連携も必要になると思われる。

就職についての問題は香川県の若者の定住化についての今後の大きな課題といえるだろう。

参考文献

秋山浩章「かがわ創生総合戦略案～人口減少の克服と地域活力の向上～」

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/zinkoukatsuryoku/taisakuhonbuH27-4-senryaku.pdf#search=%E3%81%8B%E3%81%8C%E3%82%8F%E5%89%B5%E7%94%9F>

香川県教育委員会ホームページ「平成28年度 香川県大学生等奨学金要項」

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/koko/pdf/tuition07/h28youkou.pdf>

香川県ホームページ「第1回 香川県人口減少・活力向上対策本部資料」平成26年10月14日

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/zinkoukatsuryoku/taisakuhonbuH26-1-shiryou1.pdf>

香川県教育委員会ホームページ「平成28年度 香川県大学生等奨学金要項」

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/koko/pdf/tuition07/h28youkou.pdf>

香川県立保健医療大学ホームページ

<http://www.pref.kagawa.jp/daigaku/>

香川大学経済学部ホームページ

<http://www.ec.kagawa-u.ac.jp/>

香川大学ホームページ

<http://www.kagawa-u.ac.jp/>

株式会社JSコーポレーション「地元進学率；同じ都道府県の大学・短大へ進学した割合」
進路データ2015 VOL.601/2015.11

四国学院大学ホームページ

<http://www.sg-u.ac.jp/>

高松大学・高松短期大学ホームページ

<http://www.sg-u.ac.jp/>

徳島文理大学香川キャンパスホームページ

<http://www.bunri-u.ac.jp/kagawa/>